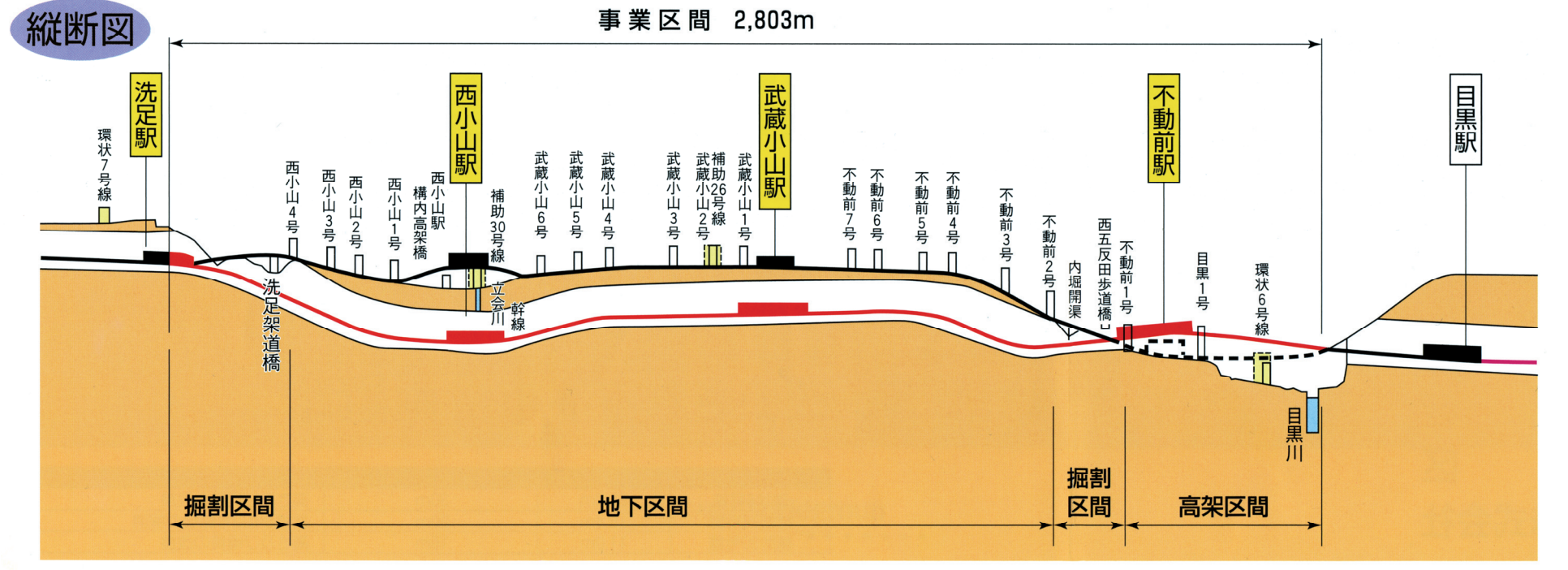


特別賞

東京都建設局

東急目蒲線(目黒～洗足駅付近間) 立体交差事業



都市名	品川区、目黒区	事業主体	東京都
事業概要			
<p>東急目蒲線(現目黒線)は、目黒駅において平成12年9月から営団(現東京メトロ)南北線、都営地下鉄三田線および平成13年3月から埼玉高速鉄道と相互直通運転を開始しており、踏切除却による安全確保のため本事業の完成が急がれていた。</p> <p>本事業は、東急目黒線を立体化することにより、18箇所の踏切を除却し、慢性的な交通渋滞の解消を図るとともに、分断された市街地の一体化による沿線まちづくりの促進を図る事業である。また、駅周辺の整備により街づくりが促進され、地域の均衡ある発展に寄与している。</p>			
○事業区間：東急目黒線目黒駅付近から洗足駅付近間		○総事業費：約873億円	
○事業延長：約2.8km		○事業期間：平成7年度～平成20年度	
○構造形式：地下、掘削、高架方式			
表彰理由			
<p>本事業は、約2.8kmの区間において鉄道を立体化することで、18箇所の踏切を除却し、交通渋滞の解消や道路と鉄道の安全性が向上したことが、非常に高く評価された。</p> <p>また、鉄道跡地や高架下空間を駐輪場や緑道整備を行うなど有効利用し、周辺の交通安全や環境改善に寄与するなど、街づくりにも貢献した点も、評価された。</p>			

